

カンパニー ナウ COMPANY 第771回 NOW!

アイ・シー・エス通商

—低コスト・高効率の財務会計ソフトで
中小企業を元気に

創業以来28年間、財務会計ソフトを専門に取り扱ってきたアイ・シー・エス通商(株)。顧客は延べ4000社にのぼる実績を有する。

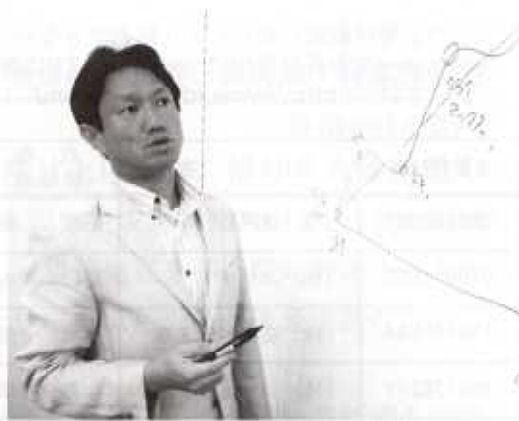
当社は、自社開発のパソコン用財務会計ソフトを中心に事業を展開しており、この分野では草分け的な存在だ。加えて、近年はグレードアップ商材として他社製品も取り扱い、ラインアップの拡充を図っている。中でも、注力しているのが関係会社である(株)ヒミコ経由で販売している弥生(株)の財務会計ネットワーク関連商品だ。

当社が提供する「弥生会計」専用のソフトウェア「管理会計ミッシー」を併せて利用することで、高額なERP会計システムでは100万円以上かかるというオーダーメイド型の特注出力レイアウト帳票も、クリックと数字の設定のみで簡単にカスタマイズできるという。また、科目の並び替え・組み合わせも自由にでき、見たい帳票、必要な帳票をすぐに作成・閲覧することが可能である。

つまり、中小企業にとってオーバースペックの高額なERPを導入しなくても、低コストで管理会計を導入できるということ。「管理会計を導入しさまざまな角度から財務を分析することで、効率的に経営判断を行うことが可能です」と語るのは当社2代目の中山博之社長だ。財務会計の作業は、規模にかかわらず企業経営には欠かせないもの。中小企業にとっては非常に有益といえよう。

このほか、当社のサービスとして特徴的なのが手形の管理・発行システムだ。業界によってはその数が膨大なものとなる手形の決済スケジュールなどについてシステム化したもので、自社で管理しようとするとなればかなりのコストがかかってしまう。それをシステム化することで、コストが5分の1～10分の1程度に抑えられる

「今後は、セミナーやフォーラムなどに積極的に情報発信も行っていきたいです」と語る中山博之社長



のだという。日本固有の商習慣に合ったシステム開発が功を奏した。

当社の顧客層は、上場企業から売り上げ数億円規模の企業までさまざま。珍しいところでは病院やお寺なども当社のソフトウェアを活用しているという。システム自体は同一のものを使用しているが、顧客企業の規模やニーズによって営業マンが対応し、カスタマイズしている。当社は「平均社歴は10年以上」と、業界経験が長い社員が多く、その専門知識には定評がある。特に営業部門では社歴20年前後の社員が多いという。顧客のニーズを満たすサービスが期待できそうだ。

しかし、当社にとっても昨今の企業業績悪化の影響は小さくない。中山社長も「顧客の投資意欲は弱含み」と話す。だが、そうしたご時世だからこそ、低コストで効率的なサービスを提供する当社にとってはチャンス。資産のリストラ、負債の圧縮など会社のスリム化にも成功し、今期は「攻勢に出る体制は整った」(中山社長)。

「物を売って満足する時代は終わった」と語る中山社長。これまで財務会計ソフトの開発、カスタマイズを手がけることで蓄積してきた“ノウハウ”や“資産”を生かして「多くの中小企業を元気にしていきたい」という。

(取材・文/東京支社情報部 山口 亮)

会社概要

アイ・シー・エス通商(株)
 企業コード: 982955280
 東京都中央区日本橋本町2-8-8、電話03-3669-8271
 中山博之社長
 設立: 1981年7月、資本金: 4000万円
 事業内容: 財務会計ソフト開発、販売
 年収入高: 約2億5000万円(2009年12月期見込み)
 従業員: 20名
<http://www.icst.co.jp/>